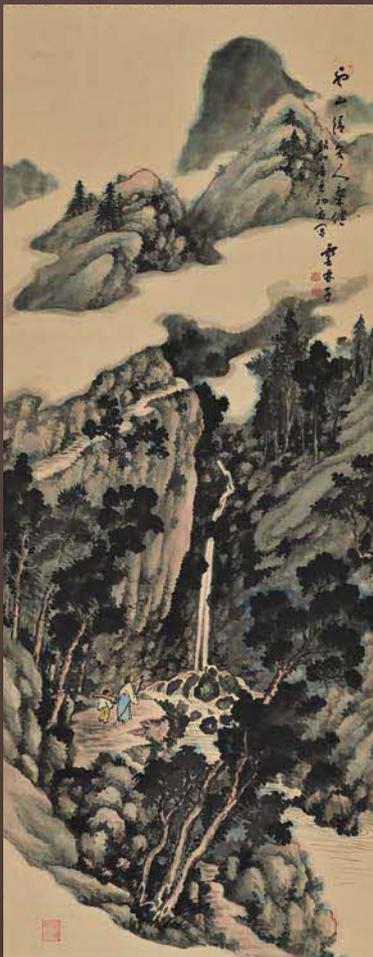


丹波市制20周年・作品受贈記念

丹波の南画家

安田家三代の系譜



2025年

1月18日(土)～

3月16日(日)

※会期中に一部展示入れ替えがあります。

前期展示…令和7年1月18日(土)～2月16日(日)
後期展示…令和7年2月18日(火)～3月16日(日)

◆休館日 月曜日

※ただし2月24日(月祝)は開館し、2月25日(火)が休館

◆開館時間

午前10時～午後5時(最終入館は午後4時30分)

◆観覧料 一般310円(260円)、大学・高校生210円(150円)、小・中学生100円(50円)

※()内は20名以上の団体割引料金

※コロナカード利用可、小学生未満は無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳または障害者手帳アプリ等のご提示で
ご本人を含む2名様まで半額

◆主催 丹波市教育委員会、丹波市立植野記念美術館

◆後援 神戸新聞社、朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞豊岡支局、
丹波新聞社、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西

◆監修 村田隆志氏(大阪国際大学 国際教養学部 国際観光光学科 教授)

【作品名(右から反時計回りに) すべて当館蔵】

安田半畊《山峡閑居》紙本墨画淡彩 掛軸

安田鴨波《樹陰樓閣》紙本墨画 掛軸

安田栗郷《漁樵閑話》紙本墨画淡彩 掛軸 昭和17(1942)年

安田雲林《雲山清泉》紙本墨画淡彩 掛軸

安田虚心《東海瑞色》紙本墨画淡彩 掛軸



丹波市立 植野記念美術館

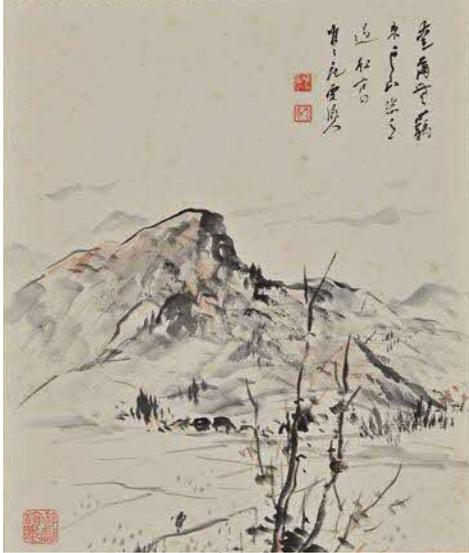


「南画」とは、主に中国絵画の影響を受けて江戸時代の日本で成立した絵画様式です。中国の高官が余技的に描いた文人画や、中国の江南地方の温暖な風景を描写した南宗画を起源としています。柔らかい描線や軽やかな色彩による描写や、形似（写実性）より写意（制作意図や表現）を重んじる制作態度が特徴です。

中国の古典的な文人画には、世俗を離れた仙境が理想郷と見なされる伝統があります。霧深い山間に位置する丹波地域はこのような仙境に通じる要素があり、南画家たちの絵画の主題となるほか、多くの南画家を輩出しています。

丹波市出身の南画家を代表する一派が、安田家です。丹波市水上町賀茂出身の南画家・安田鴨波（こうは）は明治南画壇の中心的存在であった田能村直入に師事し、「直入門下七哲」の一人と称されていました。その長男・安田栗郷（りつきょう）は幼少期より父・鴨波から書画や漢詩文を学びました。栗郷は南画の神髄を求めて、「雲烟社（うんえんしゃ）」を結成し、発起人として活躍しました。栗郷の長男である安田虚心（きょしん）も「雲烟社」の結成に参加し、特別同人として運営に携わりました。安田家は鴨波、栗郷、虚心の三代が特に著名ですが、他にも安田半畊（はんこう）や安田雲林（うんりん）などの南画家を輩出しています。

虚心は生前、安田家ゆかりの作品を多く収集、所蔵してきました。本年度、これら安田家ゆかりの南画作品二〇点を遺族から丹波市に寄贈いただきました。この作品受贈を記念して、安田鴨波・栗郷・虚心の三代を中心に、安田一族が長年にわたり表現の高みを追いつけた作品の数々を紹介します。



【作品名】すべて当館蔵
 [上] 安田鴨波《日和山真景》紙本墨画 掛軸 大正11(1922)年
 [中] 安田栗郷《初冬之丹波路》紙本墨画淡彩 掛軸
 [下] 安田虚心、安田丹女《熊野古道にて》紙本墨画 二曲一隻屏風



会期中のイベント（お問い合わせや電話予約は 0795-82-5945 まで）

☆開幕記念イベント

①オープニングセレモニー（テープカット）

日時：1月18日（土）午後1時30分～
 会場：植野記念美術館 2階 エントランスホール

②開幕記念講演会「安田家三代の南画を楽しむ」

日時：1月18日（土）午後1時50分～午後3時
 講師：村田隆志氏
 （本展監修者、大阪国際大学 国際教養学部 国際観光学科 教授）
 会場：植野記念美術館 2階 研修室
 定員：50名（要予約 電話または申込フォーム）
 参加費：無料（別途観覧料が必要）



☆南画ワークショップ

日時：1月26日（日）
 午前の部：午前10時30分～午後0時30分
 午後の部：午後1時30分～午後3時30分
 ※午前の部、午後の部ともに同内容

講師：陳允陸氏
 （墨彩画家 日本国際芸術交流センター理事長）
 会場：植野記念美術館 2階 研修室
 定員：各回15名
 小学3年生以下は保護者同伴
 （要予約 電話または申込フォーム）
 参加費：無料（別途観覧料が必要）



☆うえびのファミリープログラム

1) うえびひよこつあー

「美術館ってどんなところ？」まずは一步、足を踏み入れてみましょう。スタッフが付き添います。
 日時：2月2日（日）、3月7日（金）
 午前10時～午前11時（午前9時50分から受付）
 会場：植野記念美術館 2階 喫茶室 及び 3・4階 展示室
 対象：0～6才の未就学児とその保護者
 定員：5組
 （要予約 電話または申込フォーム）
 参加費：無料（別途観覧料が必要）



2) うえびファミリー DAY なぞときクエスト

日時：2月9日（日）、2月16日（日）、3月2日（日）、3月9日（日）（各日終日）
 家族での美術館デビューを応援！小学生以下のお子様には「うえびシールラリー」セットをプレゼントします。

☆担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2月8日（土）、3月8日（土）
 午後2時～午後2時30分
 会場：植野記念美術館 3・4階 展示室
 定員：10名程度（予約不要）
 参加費：無料（別途観覧料が必要）

会期中の2階ギャラリーでの展示・イベント

☆シルクロードの西と東
 1日限りのイタリアン DAY
 一観て、聴いて、描いて

開催日：2月11日（火・祝）
 会場：植野記念美術館 2階 研修室
 参加費：無料（ただし「安田家三代の系譜」展の観覧には別途観覧料が必要）
 企画監修：中川真貴氏（西洋美術史研究家）、ロベルタ・フィオリニ氏
 後援：Centro Culturale Firenze- Europa "Mario Conti"（フィレンツェ・ヨーロッパ「マリオ・コンティ」文化協会）、Museo Ugo Guidi（ウゴ・グイディ美術館）、Forte dei Marmi（トスカナ州フォルテ デイ マルミ市）

1) イタリア人作家6名による作品展
 時間：午前10時～午後5時（最終入館 午後4時30分）
 2) イタリア人作家との交流コーナー
 時間：午後2時～午後3時
 出演：シメネッタ・フォンターニ氏、ウィリー・ボンティン氏、ジュゼッペ・アレジャーニ氏、ロベルタ・フィオリニ氏

3) コーラス「歌声は世界を繋ぐ～ソプラノ独唱とソプラノデュエット＆コーラス演奏」
 時間：午後3時15分～午後4時
 企画：足立さつき氏（ソプラノ歌手）
 出演：コロ・ディ・マッジョ、コロ・マーモ、足立さつき氏、松田佳美氏（ソプラノ）
 定員：50名程度（予約不要、当日先着順）

☆丹波アートコンペティション
 第5回展 新人賞受賞者作品展

日時：2月18日（火）～23日（日）
 午前10時～午後5時（最終入館 午後4時30分）
 ※最終日2月23日（日）のみ午後4時終了（最終入館午後3時30分）
 会場：植野記念美術館 2階 研修室
 観覧料：無料（「安田家三代の系譜」展の観覧には別途観覧料が必要）
 主催：丹波市、丹波アートコンペティション実行委員会

☆丹波市ゆかりの美術作家たち
 第6回 UEBI ART 展 里知純・佳孝兄弟展

会期：3月4日（火）～3月16日（日）
 午前10時～午後5時（最終入館 午後4時30分）
 会場：植野記念美術館 2階 研修室
 休館日：月曜日
 観覧料：無料（ただし「安田家三代の系譜」展の観覧には別途観覧料が必要）

〈次回展覧会〉（予定）
 2025年4月12日（土）～5月25日（日）
 「パプアニューギニア展」

丹波市立 植野記念美術館
 〒669-3603 丹波市水上町西中615-4
 お問い合わせ TEL 0795-82-5945
 FAX 0795-82-5935

